特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟
2022 年度　第 4 回理事会
議　事　録

日　　時：2023 年 2 月 26 日（日）16:00～17:30
場　　所：リモート開催
出 席 者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、若林稔、辻村和見、荒井秀樹、
桜本利幸、東海林志朗、山口聖子、夏目堅司、岡本圭司、鹿島（吉龍）忍、
田原麗衣、井上真司
（15 名）
委任出席者：大日方邦子、井口深雪、上東悦子（3 名）
欠席者：中村勝彦（1 名）
出席監事：大内智、宮田隆司（2 名）
オブザーバー：石井沙織、渡辺孝次、二星謙一、平木明二（4 名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、19 名中出席 18 名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。
議事録署名人には、古市副会長、鈴木理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【審議事項】
（１） 2023 年度パラサポ助成金申請について
石丸：常任理事会で審議した内容をパラサポに事前相談しました。一部修正した箇所もありますが、配布資料に沿って理事会での審議をお願いします。
石丸：ガバナンスについての予算申請内容の説明を行った。
石丸：普及啓発事業（VI 講習会と体験会）に関する予算申請内容について説明を行った。主に事業に携わる人員の旅費と謝金を予算化したものです。
若林：広報とマーケティングに別けて予算化しました。広報としてはプレスリリース、メディア対応、SNS 発信、HP 改修の費用を予算化し申請します。マーケティングとしては、会員向けのサービスとして、パラ競技の体験会とスキー場での競技会を企画し予算化しました。
石丸：その他として翻訳費用を申請する予定です。
石丸：申請の優先順位も決めなければならないので、合わせて審議をお願いします。
優先順位については、資料で配布した順位が常任理事会で決議した順番になっています。

議長：申請内容と優先順位ついて承認を求めたところ全員一致で承認された。

（２） 令和５年度ナショナルコーチ・スタッフ等設置事業への推薦について

渡辺：藤田競技パートナーの活動日数・時間が多くなっているのでＢからＡに変更します。ナショナルヘッドコーチは小舘さんに継続してもらいます。

石井：昨年同様、HPD とナショナルヘッドコーチ、トレーナーA で申請予定です。HPD 石井、トレーナー大岡は決まってますが、ナショナルヘッドコーチは現在、人の特定が出来ていません。JPC と相談の上７月までに人選を行うようにします。

古市：スノーボードについては、二星 HPD が２月で退任するのでナショナルヘッドコーチは HPD になった人が決めることになります。現在、HPD とナショナルヘッドコーチは未定です。JPC にはバイネームでの推薦は出来ませんが、HPD とナショナルヘッドコーチを設置することで報告します。

石丸：JPC から謝金の配分額決定通知が出た後に、それぞれのスタッフの謝金額を決めることになります。次回理事会まで待って JPC に報告することが時間的に無理なので、謝金額を決めるメンバーを理事会で決めてください。JPC へ提出する推薦者一覧には、カテゴリーの上限額を記載して提出します。

椎名：会長、副会長、強化本部長、強化副本部長で決めることにしましょう。

議長：令和５年度のナショナルコーチ・スタッフ等設置事業への推薦と謝金配分額の割振り方法について承認を求めたところ全員一致で承認された。

（３） 令和５年度 JPC 強化指定選手の推薦について

石丸：JPC 強化指定選手の規程に沿って制度の説明を行った。エリートＡとエリートＢの２カテゴリーの選手を推薦をします。

石井：2023 年の世界選手権の成績を基準に森井をエリートＡ、鈴木と岸本をエリートＢに推薦します。

渡辺：2023 年の世界選手権の成績を基準に川除をエリートＡ、新田と佐藤、出来島、岩本美歌、森の５名をエリートＢに推薦します。

古市：本堂選手はケガで活動出来なかったが過去の実績で推薦出来ないのですか。

石井：推薦基準が直近の世界選手権なので、推薦出来ません。

石丸：スノーボードについては、３月に行われる世界選手権の結果を JPC の推薦基準に当てはめて推薦することでいいか審議をお願いします。

古市：タイム差が大きい場合や順位だけしか結果に出ない競技の扱いは検討が必要かと思います。

渡辺：JPC の基準もマイナス１ルールを採用しているので問題ないと思います。

岡本：世界選手権の参加者は増えているので、問題ないと思います。

椎名：今後、JPC 強化指定選手の連盟としての推薦基準も検討が必要になると思います

議長：アルペンとノルディックの推薦選手とスノーボードの推薦選手決定方法について承認を求めたところ全員一致で承認された。

（４） アルペンチームのヘッドコーチについて

鈴木：アルペンチームのダリオヘッドコーチに重大な契約違反がありました。法務倫理委員会と顧問弁護士がインタビューを行い、契約違反があったことが確認出来たので、1月末をもって解任することになりました。

若林：本件について照会があった場合、対外的にはどのように伝えればよいのか。

椎名：窓口は広報委員会になるが、伝える内容は鈴木管理本部長と相談してください。

議長：アルペンチームのヘッドコーチを解任することについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

（５） 故平野敦司への供花について

古市：長年に渡り連盟の監事を務め、普及事業にも貢献してくれた平野さんがお亡くなりになりました。役員以外には弔意規程が当てはまりませんが、事後ですが会長名で供花したことを報告するとともに承認をお願いします。

議長：故平野さんへの供花について承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

（１） 競技大会委員会・普及委員会の今シーズンの事業の進捗について

保科：競技大会委員会は3事業を予定してました。ID合同大会、アルペンのジャパラは2月に実施済です。3月に札幌でノルディックアジアカップを開催予定です。

渡辺：ID合同大会は、IDのアルペンとノルディックの選手交流が出来て有意義な大会であった。また、IDノルディックはレースが少ないのでレースが出来たことが良かった。

椎名：アルペンとノルディックの選手同士の交流が出来たことは良かった。

東海林：アルペンの大会運営は問題が多く見られた。テイネスキー場は大会運営に慣れていない。改善事項を今後の大会運営に生かしたい。

石井：2月21日22日に菅平でSL競技2レースを実施しました。当初はSGの予定だったが、FISの規程で菅平のコースが条件を満たさなくなり急遽SLに変更しました。
JPSAからは今後土日を挟んでの日程を要望されました。

保科：ジャパラではクラス分け実施が課題として残りました。
札幌のノルディックアジアカップは、ウクライナ・カザフスタン・モンゴル・韓国から選手、スタッフが参加予定です。市民との交流事業も計画しています。

石丸：普及事業について終了した事業とこれから実施する事業について説明を行った。

二星：サポーターズカップの概要について説明を行った。

（２） 公益法人化の進捗について

古市：1月から2月の初めにかけて内閣府から要望のあった書類を提出しました。
現在、内閣府で審議してもらっている最中です。

（３）2024 年 FIS パラアルペンスキーワールドカップ開催について

保科：2024 年 2 月 13 日～18 日に札幌テイネハイランドスキー場でアルペンのワールドカップを開催する予定です。技術系 GS と SL で 5 戦予定しています。
今後テイネスキー場や札幌スキー連盟、札幌市との連携を取って進めていきます。体制作りが大変だと思ってます。

【その他】

＊石丸：強化事業の完了報告書の JPC への提出期限が 3 月 31 日になってます。事業終了後速やかに経費精算出来るようにお願いします。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2023 年 2 月 26 日

議事録署名人

議　　長　　椎　名　　茂

議事録署名人　　古　市　隆　一

議事録署名人　　鈴　木　　久　三　郎